

電話 84-7006 FAX 71-7055 只見町大字長浜字唱平 60 番地



《第29号 since》

今年は、全国各地で甚大な災害があり、年末を迎えても生活の目途が立たなくて困っておられる被災者が多くおられます。一日も早い日常の生活が戻ることを祈るばかりです。

また、先日、アフガニスタンで亡くなられた中村哲医師の支援目標は、「三度の飯が食えて、家族と一緒に暮らせること。」が口癖だったそうです。

穏やかな日常が、改めてかけがえのないものであることを痛感させられます。

皆様、今年も誠にありがとうございました。明年も皆様にとりまして良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

### ■只見町社会福祉の集い「特別講演会」を開催しました！

岸本 和裕(科長)



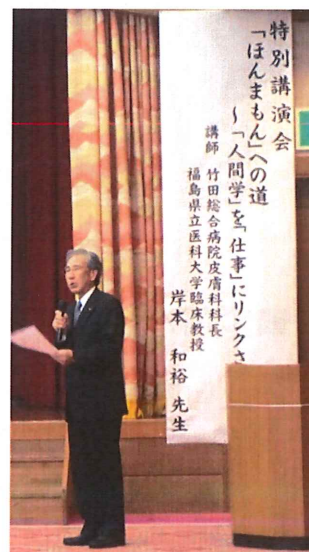
11月24日(日) 季の郷 湯ら里において、竹田総合病院皮膚科科長・福島県立医科大学臨床教授の岸本和裕先生をお招きし、「ほんまもん」への道～「人間学」を「仕事」にリンクさせる～と題し、ご講演して頂きました。

講演内容から一部抜粋(要旨)

「比喻で氷上のペンギンに例えて～最初に海に飛び込むペンギンが今の時代求められている。頭が良いペンギン(人)は、周りの様子を見るから、決して最初には飛び込まない。」



【 当日の会場の様子(約80名のご出席を頂きました) 】



【お礼の言葉】  
(佐藤克彦 会長)

### ■社会福祉協議会会長感謝状の贈呈をしました！

第2回只見町社会福祉の集い(11/24)の席上、長年、只見町赤十字奉仕団委員長・只見町社会福祉協議会理事を務められた五十嵐聡江様(只見)に佐藤克彦会長から感謝状が贈呈されました。

長い間、誠にありがとうございました。



電話 84-7006 FAX 71-7055 只見町大字長浜字唱平 60 番地

■「地域歳末たすけあい募金」：皆様のご協力をお願い申し上げます！

スローガン：「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

運動期間：12月1日～12月23日

運動推進主体：只見町共同募金委員会

只見町民生児童委員協議会

只見町社会福祉協議会



■今月もお弁当と一緒に配りました（保育所の子どもたちの絵です）！



【朝日保育所の年長さん】



【明和保育所の年長さん】

■災害ボランティアセンター運営支援に行ってきました！

町内からも消防団はじめ何人もの方が台風等の被害のボランティア活動に行かれました。

8月末の大雨被害の時は、遠く佐賀県まで、今回の台風19号では、郡山市や本宮市等に行かれた方々がおられます。

私たち社会福祉協議会職員2名も郡山市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターの運営支援に8日間（11/2～11/5・11/10～11/13）行ってきました。



■ご寄附お礼

・社会福祉事業（介護事業）のためにご寄附を頂きました。

黒谷 尾形 エイ子様 金10万円

誠にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

ありがとうございます



・永光建設株式会社様から胡蝶蘭を頂きました。

来所される方々に観て頂きます。綺麗な花をありがとうございました。

